

「第3回アドバイザー会議」における評価区分及び評価内容

調書番号:11 施設名:八ヶ岳自然ふれあいセンター

アドバイザー	評価区分	評価内容
小口アドバイザー	「要改善」	<p>自然環境に関する情報の提供は勿論のこと、学習の機会に非常に相応しい場所であると感じた。更にそのような機会が増えるように運営等も含めて見直してほしい。</p> <p>運営面について、当センターは県有施設でキープ協会が運営しており、地域一帯はキープ協会が運営しているが、あくまでも利用者からみると一体のものである。県とキープ協会の区分ということでやらざるを得ないが、かなり無理をして区分している。逆に言うと利用者からは少し分かりづらい状況になっている。県とキープ協会は違うものなのでなかなか難しいが、せっかく同じ地域にあり、指定管理を委託しているという共通のメリットを生かして、可能な限り利用者の立場に立ち、プログラムの見直しや負担、レンジャー人員の相互の利用等、一体のものとして改善できないか検討してほしい。</p> <p>学校と一般の方とで区分している形になっているが、学校等での教育の機会是非常に大切であるため、学校等へのPRはキープ協会と共にし、共通のチラシを作成するなど可能な限りの見直しをしてほしい。</p> <p>来館者の増加について、冬場はどうしても利用者が減るため、様々な工夫を打ち出し、成果をあげているが、考え方として冬場はこちらか出向いてPRするチャンスでもあるため、特に学校へPRし、情報やニーズを取り入れてほしい。</p> <p>センターとしての役割について、キープ協会と一体としての施設の運営となっているが、設立の趣旨は、清里だけでなく八ヶ岳山麓の文化のむらの中心施設として位置付けられている。再度、文化のむらの施設との連携を考えるとともに、近隣のまきば公園や丘の公園などの県の施設との連携も含め、地域全体の活性化、貢献、向上に努めてほしい。</p>
小澤アドバイザー	「要改善」	<p>八ヶ岳という自然豊かな場所での体験、学習等には絶対に必要な施設である。更に、展示、イベント内容もかなり工夫されているが、毎年環境が変化していくなかで、イベント等への参加者へのアンケート等がもっと必要である。</p> <p>県民の利用率がどうしても冬と夏で格差がかなりあるため、冬でなければ出来ないイベントの工夫が更に必要である。</p> <p>まだ来ていない学校がかなりあるため、そこへのPRが必要である。</p>

村上アドバイザー	「要改善」	<p>施設内でのプログラムや展示も工夫しているが、実際に森に出る自然体験プログラムがセンターのメインであり、今の時代は精神的な心のバランスを重視する時代であり、このような体験プログラムは、子どもは勿論のこと、大人の癒やしにも必要である。</p> <p>H29 年度は、県外の一般の団体利用者が平年の1 / 3に満たない数であったが、県内外に拘る必要はなく、県外の利用者の増加で山梨県の知名度の向上になれば、県有施設としての必要性はあるので、県外にもPRを進めてほしい。</p> <p>森のクイズラリーに加え、セルフ型のプログラムの追加により、参加者数を伸ばしているが、これらは悪天候でも利用可能であり、自発的な体験は記憶に留まりやすいため、セルフ型プログラムの更なる工夫により、冬場の利用者を確保してほしい。</p>
----------	-------	--

「第3回アドバイザー会議」における評価区分及び評価内容

調書番号: 12 施設名: 桂川ウェルネスパーク

アドバイザー	評価区分	評価内容
小口アドバイザー	「要改善」	<p>指定管理者の努力により利用者は年々増加の傾向にあるが、利用者1人当たりの県の経費という観点では、今一つの状況。当公園の自然体験や農業体験という特長を生かした努力工夫により更に県への貢献度を上げていただきたい。</p> <p>改善のための考え方としては、2点ある。</p> <p>ひとつは利用者の増加に向けての努力である。</p> <p>色々な利用者があるが、自然体験、農業体験というテーマから考えると、県内では小学校を中心としたPRが必要ではないかと思う。PRの対象地域を広げる、あるいはチラシ発送だけでなく出向いてPRを行い、同時に学校のニーズを把握することもお願いしたい。</p> <p>県外からの利用者が増えている状況だと思うが、県への貢献度を高めるということになると、地域の食や農のスポットみたいなものもPR、あるいは連携することにより県への貢献度を高める工夫をしてもらいたい。こうしたところの魅力として、食が一つのポイントとして上げられると思う。レストランのメニューにハーブ関係のものを採用する、あるいはハーブの商品化などが考えられる。食の魅力に繋がられるように検討してもらいたい。</p> <p>もうひとつは経費の有効活用についてである。</p> <p>外部委託の植栽管理費が、かなりの金額になってきている。当然考えているとは思いますが、利用する場所によって管理回数を減らすとか、手のかからない植栽に少しずつ替えていくということにより、全体の植栽管理費を下げてもらいたい。次回の指定管理者の公募の中で、植栽管理費を下げるための提案を項目に入れて公募することも考えてもらいたい。</p> <p>また、水道光熱費もかなりかかっているの、見直しをお願いしたい。</p> <p>今後の問題として、遊具の修繕が、年間数千万単位で出てくることが見込まれている。本当に修理をすべきかどうか、場合によっては撤去した方が良いというものも当然出てくると思う。こうした選択をするための資料としても今から遊具ごとの稼働状況を把握して、今後継続するか止めるかの判断材料としてデータを蓄積してもらいたい。</p>

<p>小澤アドバイザー</p>	<p>「要改善」</p>	<p>とても広くて良い場所だと思った。</p> <p>地域住民や県内外の方を来園者の対象者としているが、首都圏からの利用が増えている状況である。社会情勢の変化に伴う来場者のニーズの変化への対応が大変難しいものになっていくと思うが、利用者のサービス向上に更に努めて欲しいと思う。地元の方々の利用率の向上についてもう少し検討してもらいたい。自然体験や農業体験を地域住民にして欲しいというところが目的となっていると思う。ドッグランは、県外の方が多いうのだが、それは通過点としての利用といった部分もあるので、地元の方にもっと利用してもらいたい。</p> <p>里山交流館なども利用を増す検討やレストランについての工夫、内容も検討が必要である。</p> <p>また、植栽管理体制の見直しも必要である。来る人のことをもっと考えながら、来園者を増やしていく必要がある。</p>
<p>村上アドバイザー</p>	<p>「要改善」</p>	<p>山梨県大規模公園整備構想の中で造られた公園ということで、広くて芝生と緑が豊富であるため、その植栽等の委託費が多く、収入比で見ると、人件費が約38%のところ、外部委託費が約40%ということで、実際にかかる費用なので増えていく。また、指定管理制度なので、指定管理者に外部委託のことも任せてあるということだが、その委託費の推移を見ると、平成21年度から現在まで委託先が変わらないため、委託先、委託範囲や委託方法等の見直し等を行わない限り金額的に増える事があっても減ることはないと思うので、一度このあたりを再検討してもらいたい。</p> <p>大月という場所やドッグラン等で、首都圏からの利用が今後も増えていくと思われるので、アンケートや広報を工夫して、県内外にこだわらず利用者を増やしてもらいたい。</p> <p>料理教室兼作業室、会議室、里山体験棟の稼働率が低いという課題について、当面は地域の方へのPR方法を検討して稼働率を上げる、もしくは効率よく使える別の利用方法の検討が必要ではないか。</p>